## 4 防止対策の実施状況別典型7公害の直接処理件数

- 典型7公害の直接処理において、約6割は防止対策を実施
- 公害の種類別に防止対策を講じた件数の割合をみると、「大気汚染」が 65.1%と最も 高くなっている

〈統計表第25表参照〉

典型 7 公害の直接処理件数(42,121 件)を防止対策の実施の状況  $^9$ 別にみると、「防止対策を講じた」が  $^2$ 24,884 件(59.1%)、「防止対策は何も講じていない」が  $^2$ 7,578 件(18.0%)となっている(表  $^2$ 11)。

公害の種類別に、防止対策を講じた件数の割合をみると、「大気汚染」が 65.1%と最も高く、次いで「土壌汚染」が 64.9%、「騒音」が 59.0%となっている(図 20)。

図20 典型7公害の種類別、直接処理件数に占める「防止対策を講じた」件数の割合

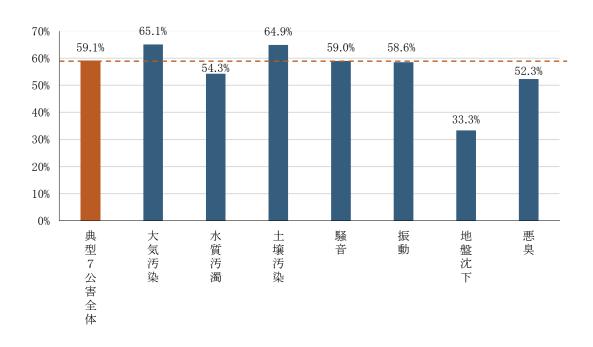


表11 防止対策実施の状況別、典型7公害の直接処理件数

(単位:件)

	合計	防止対策を講じた	防止対策 は何も講じ ていない	不明
直接処理件数	42, 121	24, 884	7, 578	9, 659
構成比(%)	100.0	59. 1	18.0	22. 9

<sup>9</sup> 防止対策の実施の状況の区分については、「防止対策を講じた(「作業方法、使用方法の改善」及び「その他の方法で対策を講じた」の合計)」「防止対策は何も講じていない」及び「不明」の3種類